

今津赤十字 だより

目次

就任のごあいさつ	1
新任ドクター紹介	2
当院のリハビリについて	3~4
高齢者介護予防教室	4
ナースのまど	5
第2回 連携医リレー紹介	6



* 病院理念 *

* 基本理念 私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

* 基本方針 1.地域医療

地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

2.全人的医療

病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

3.医療と福祉の架け橋

医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくための

お手伝いをする医療福祉センターを目指します。



今津赤十字病院

就任のごあいさつ

このたび、今津赤十字病院事務部長に就任いたしました武田です。
就任にあたり、これからの本院の取り組みについて、ご報告させていただきます。

昨年度は、診療報酬改定の年でありました。国の目指す方向は「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実」を基本とした地域包括ケアシステムの構築であります。簡単に言えば、それぞれの病院が機能に応じた自院の役割を明確にし、連携を図り、一日も早く住み慣れた地域、在宅へ患者様を復帰させ、それを地域全体で支えていく、「地域完結型」のシステムをつくることのようにです。

医療制度は時代とともに移り変わるのは当然であります。特に最近の医療を取り巻く環境やシステムは目まぐるしく変わり、皆様がたにとっては、「どこに行けばいいの?」「どうすればいいの?」「えっ、今は違うの?」と言った不安の連続ではないでしょうか? これらをわかりやすく丁寧に説明していくことも私どもの責務であると考えます。平成27年度は次の3つの事業にチャレンジし、地域に愛され、信頼される病院を目指します。



事務部長
たけ だ よし お
武田 義夫

①地域包括ケア病床の拡大(病床機能分化)

機能分化の中で新たに設けられた、急性期後および介護施設からの患者様を受入れる病床で、療養病床や在宅へとつなぐ役割があります。昨年5月に赤十字で第1番目に14床を取得、9月に18床に増床し、今後も期待される病床であることからさらなる増床を計画しております。

②訪問看護ステーションの拡大(在宅医療の強化)

福岡市西区唯一の強化型を取得でき、信頼も築けたことから、今後は不足する地域にサテライト設置も検討し、「病院・施設から地域・在宅へ」の架け橋となるため、強化するものであります。

③生活習慣病予防検診の推進強化(健康の維持増進)

昨年5月より開始し、指定病院が不足する福岡市西区周辺地域の皆様の健康の維持増進、疾病予防や早期発見等に努めてまいりました。今年度、放射線機器等を更新し、受入れ強化を図るものであります。

医療を取り巻く環境は厳しく、本院もその影響を受け厳しい経営を余儀なくされていますが、チャレンジすることで、公的医療機関である赤十字病院としての使命を忘れず、地域の皆様や高齢者の方々が、住み慣れた地域や在宅で安心して暮らし続けられるために、信頼される病院づくりを目指していく所存であります。

新任ドクター紹介

皆さんこんにちは。もの忘れ外来を担当いたします精神科の勝治です。
当院には、平成23年度から2年間常勤医、その後2年間非常勤医としてお世話になっていました。今年、平成27年度に再び常勤医として当院に赴任いたしました。

現在、高齢化が進み、認知症予備軍を含めると認知症の方は800万人と言われるようになりました。今後認知症の診断・治療は重要性を増すばかりでしょう。

さて、認知症の方は周りの世界をどう感じているのでしょうか。認知症になりますと少しずつ認知機能が低下していきます。当初は家族も気付かない位です。本人は今までとは違って来たと感じますが、家族には伝えない方が多いです。認知機能低下のため自信を失い、一人悩んでうつ状態となることもあります。やがて家族がもの忘れに気がきます。注意叱咤する家族もいると思います。もちろん家族は悪気なく、本人のことを心配してのことです。しかし本人にしてみれば自信喪失している上に責められていると思われませんか。

このような自己肯定感を損なう状態が続くと妄想、興奮、不眠などの認知症に伴う心理・行動症状が出てくることもあります。逆に言いますと自己肯定感を保ち、自分には役割があると思える環境ではこのような症状は出にくいし、出たとしても軽いでしょう。つまり関わり方の工夫や環境調整が最も大切です。

とは言え、それだけでなかなか心理・行動症状がよくなる場合は薬物療法を行います。その時は様々な心理・行動症状に対する薬物療法を経験している精神科医の出番です。認知症の方は高齢であるので身体的な病気を抱えている方が多いと思います。ですから認知症の方の治療は心身共に総合的に診ることが大切です。ここ今津赤十字病院は長年にわたり、内科、精神科が連携し、高齢者、特に認知症の方の診断・治療を行ってきました。今後も地域の皆さんのお役にたてればと考えています。よろしくお願ひします。



精神科 精神科部長

かつ や かず お

勝 治 一 夫

はじめまして、今年4月から赴任いたしました内科医師の浦江晋平と申します。
これまで、福岡赤十字病院救急部で1年間急性期の患者様の治療を勉強してきました。

今津赤十字病院は、平成26年2月に研修医として1ヶ月勤務したことがあり、その時の印象は、病院から眺める景色の良さと、内科、精神科の先生・看護師のみなさんの優しさでした。

今津赤十字病院では、高血圧等の生活習慣病に対する治療や高齢者の急性期疾患、脳卒中やリハビリテーションに力を入れている病院で、幅広い高齢者の内科疾患や地域医療について学びたいと思っています。

まだ赴任して時間が経ちませんが、医療と介護の連携の大切さや、医師として、1人の患者様や家族と向き合っていく事が大切だという事が分かってきました。これからも皆様をいろいろな方面からサポートできるように、努力していきたいと思っています。

最後になりますが、私は「自由に生きたい」という人生のモットーを持って、日々趣味のインターネットや音楽鑑賞を楽しんでいます。医局で1番若い医師として、松岡修造のように、いつも燃えていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。



内科医師

うら え しん べい

浦 江 晋 平

当院のリハビリについて



当院では脳卒中や神経難病、認知症、肺炎後の廃用症候群などにより、麻痺や筋力の低下による手足の動きの障害、ことばや飲み込みの障害、認知機能低下などの障害のある方を対象に入院・外来でリハビリテーションを提供しています。

理学療法

理学療法では、病気やケガ、高齢などにより身体が不自由となった方に対し、「運動」を行うことにより身体と心の両面から機能回復および維持を図ります。

具体的には…

- ①関節を動かし筋力をつける練習
- ②寝返りや起き上がり、座ることなどの基本的動作練習
- ③立ち上がりや歩く練習を行います。

その際、運動を行うにあたり、痛みを伴う部分については前処置として温熱療法(ホットパック等)、光線療法(マイクロウェーブ等)、電気療法(干渉波等)により痛みの和らげます。また、杖や歩行器・車いす・足に合わせた靴の選定など福祉用具の相談に応じたり、機能を維持するために個人できる運動プログラムの指導も行っています。



〈関節可動域訓練〉



〈起立訓練〉



〈歩行訓練〉

作業療法

作業療法とは、病気などにより心身に障害をもった方に対して、生活の向上の為にを行うリハビリテーションです。食事・トイレ・服の着替え・入浴などの日常生活動作、家事や買い物といった応用動作、学習や仕事などの社会的適応能力の回復に向けた援助を行っていきます。また、対象者の趣味を活かし、手工芸などの創作的な活動や余暇活動の援助などを治療手段とすることも特徴の一つです。

当院で多く対象とされるのは脳卒中や神経難病、認知症です。それぞれ疾患の特徴は違いますし、リハビリ内容も異なりますが、共通して言えることは作業療法では「生活」に重点を当てるといことです。その人らしい生活が送れるように、気持ちに寄り添いながらリハビリを行っています。

実際には…

【日常生活動作の訓練場面】



〈更衣動作訓練〉



〈調理訓練〉

【認知症病棟での作業療法】



〈集団活動〉

※興奮や徘徊し落ち着かないなどの周辺症状を緩和することや生活リズムを整えることを目的に集団活動などを行っています。

退院前の家屋調査



〈玄関の段差は…〉



〈トイレの手すり〉

リハビリスタッフがご本人の出来ることを把握し、実際に自宅で安全に生活出来る様、手すりの設置や段差の解消を行います。また、必要な場合は介護保険を用いた福祉用具の購入やレンタルの紹介を行います。

言語聴覚療法

言語聴覚療法では主にコミュニケーションがスムーズに取れなくなった患者様や飲み込みが上手くできなくなった患者様に対して、ことばや飲み込みのリハビリテーションを行っています。ことばや飲み込みの障害の原因として、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、神経難病等があります。当院では主に①失語症、②高次脳機能障害、③運動障害性構音障害、④摂食・嚥下障害の症状を対象に患者様に対して、言語聴覚士がそれぞれの症状にあわせた評価を行い、言語訓練や嚥下訓練、コミュニケーション機器の訓練を行っています。



〈絵カードを使った言語訓練〉



〈コミュニケーション機器の使用訓練〉



〈摂食訓練〉

最後に…

医師、看護師、ソーシャルワーカーなど他職種と連携し、治療方針などを話し合い患者様の支援に努めています。そしてできる限りその人らしい生活が送れるように、気持ちに寄り添いながらリハビリを行っています。



高齢者介護予防教室

リハビリテーション技術課長

しら いし ひろし
白石 浩

平成27年3月15日(日)にサイトピア(福岡市西部地域交流センター)で高齢者介護予防教室が開催されました。私は「今からはじめる介護予防～知って得する健康講座」というテーマで、要介護の原因とその予防法について、体操実技も交えながらお話をさせていただきました。当日は、約200名の市民の方々に来場していただき、介護予防に関する関心の高さを実感しました。

ほけたくない、寝たきりになりたくない、そしてポツリ逝きたい、つまり健康寿命の延伸が高齢者共通の願望です。しかし、多くの方々は“運動は体に良い”ことはわかっている、実践を伴っていないのが現実だと思います。今までの介護予防は、筋トレのような機能訓練を主に実施してきたため、どうしても長続きしていませんでした。これからは、機能訓練などの高齢者本人へのアプローチだけではなく、地域の中に生きがい・役割をもって生活できるような居場所と出番づくりなど、高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチが重要です。人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が継続的に拡大していくような介護予防を通じた地域づくりを啓発・支援していきたいと考えています。





ナースのまど



日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命にもとづき、全国各地で人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習を行っています。今回は、その中の『健康生活支援講習』と『幼児安全法講習』についてご紹介いたします。

健康生活支援講習

少子高齢化が進み、健康増進・介護予防などへ社会の関心が高まっています。そのニーズに柔軟に対応するために、健やかな高齢期を迎えるための健康管理の備えや地域での高齢者支援、自立を目指す介護の方法などについての知識や技術の習得を目的として講習を行っています。

また、災害時に被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、役立つ知識や支援技術の紹介を行う講習もあります。講習は、時間をかけてしっかりと学ぶ養成講習と手軽に学ぶ短期講習があります。要請があれば、出張講習も行っています。自分のために、家族のために、地域のために、より良い高齢期を過ごし、支えるために、皆様の受講をお待ちしております。



健康生活指導員

たしまきみこ

田嶋紀美子

幼児安全法講習



子どもの尊い生命を守り、社会全体で大切に育てるために、子どもに起こりやすい事故に対する事故防止と手当の方法、家庭内での看病の方法や災害時の乳幼児支援などについての知識や技術の習得ができます。

特に、乳幼児の一次救命処置は、子どもに接する機会の多い保護者や子育て支援者、保育士、幼稚園・学校教諭、ライフセーバー、スポーツインストラクターの方々に習得していただきたい内容です。

講習会で、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術の習得や、乳幼児の訓練用人形を使用し、AEDの使用方法など体験し、ストッキングやハンカチを代用し、日常起こりやすいけがの手当ての方法を学びます。私は講習を通して、子どもの救命率の向上、健康・安全意識の高揚、受講者が地域福祉の担い手となるように、微力ながら、皆様にお伝えしていきたいと思っております。

講習は、少ない人数からご相談に応じております。皆様の受講をお待ちしております。



幼児安全法指導員

いで

井手あゆみ

講習の内容や開催予定、申し込み方法など詳細は下記にお問い合わせください。

講習の紹介

日本赤十字社福岡県支部ホームページ <http://www.fukuoka.jrc.or.jp>
日本赤十字社福岡県支部 事業一課 講習担当: ☎092-523-1172

講習の日程や費用のお問い合わせ

今津赤十字病院ホームページ <http://www.fukuoka.jrc.or.jp/imazu/>
地域連携室 尾花

第2回 連携医リレー紹介

当院では、さまざまな医療機関との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各医療機関の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第2回目は、森本医院、久保田クリニックです。

森本医院（福岡市西区大字田尻）

院長 森本 健^{けん} 先生

九大伊都キャンパスに近い、元岡地区に開業しております森本医院 森本でございます。先代の父が開業いたしました、今年で42年となりました。当時の元岡地区には当院しかなく、外科出身であった父は一般内科診療、外科手術、小児科診療まで行っていたようです。現在は私の代となり、専門である消化器領域も含め、内科一般の診療を中心に行っております（父もまだまだ健在で週1日外来を担当しております）。少し前までは以前の名残で重度の外傷や交通事故の方も見えておりましたが、最近では近隣の外科系の先生方にお世話になっております。九大が移転してきました元岡地区ですがまだまだ高齢者が多く、呼吸器感染症や脳血管疾患などで今津赤十字病院の先生方にはお世話になっております。

病診連携室を通じて、急患の依頼に対する対応もスムーズで、開業医としては非常にありがたく思っております。



また認知症の専門外来を設けていただき、当院はグループホームを併設しておりますし、また当院でも多くの認知症の患者様を抱えていますため何かとご相談させていただき、ご指導いただいております。



▲外観

今後とも引き続き、密接な病診連携を保っていただきたく思います。よろしくお願いたします。

久保田クリニック（福岡市西区小田）

院長 久保田 晃^{あきら} 先生

今津地区の北隣り、北崎地区で三代続く医院です。まるでUFOのようなモダンな外観が目印です。この建物を先代の木下院長が建てたのが昭和59年、31年前です。その義父から院長職を引き継いで、早いもので9年目になります。総合内科医として小学校の校医から訪問診療まで地域に根差した医療を心掛けています。

高齢になりますと、認知症や身体機能の衰えなど、心と体の両面から治療、ケアの必要な方々が多くなります。今津赤十字病院にはこの地域で内科と精神科の機能が充実した病院として大変お世話になっております。認知症の方の治療方針を決める際には、もの忘れ外来をよく受診していただいております。また、体調を崩された方の入院やリハビリなどにも対応していただいております。訪問看護ステーションのスタッフの方々にも在宅医療を力強くサポートしてもらっています。



地域包括ケアにはなくてはならない施設として、今後ともよろしくお願申し上げます。（私事ですが、昨年



の福岡マラソンに出場しました。今津から北崎まで沿道の大声援にパワーをいただき、無事完走しました。）

▲外観

診療案内

- ◆診療科目／内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
 - ◆受付時間／(月曜日～金曜日)午前8時30分～午前11時30分及び午後1時30分～午後3時30分
 - ◆休診日／土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

今津赤十字病院 外来診療担当表

平成27年4月1日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日	
内科	午前	初診	浦江 晋平	尾前・友原	関 拓紀	松枝 修明	浦江 晋平		
		再診	尾前 豪	藤井 弘二	藤井 弘二	藤井弘二(生活習慣病)	藤井 弘二		
			納富 昭光	尾前 豪	市島 久仁彦	市島 久仁彦			
	午後(初診及び再診)	古瀬 正徳	市島 久仁彦	関 拓紀	松枝 修明	友原 沙織			
精神科	午前(再診のみ)	田中 和宏	牧 篤	勝治 一夫	勝治 一夫	本田 慎一	デイケアのみ	デイケアのみ	
	午後(認知症外来(新患・予約制))	勝治 一夫 牧 篤	勝治 一夫 畑部 暢三	勝治 一夫 牧 篤	勝治 一夫	勝治 一夫 牧 篤			

交通アクセス

◆JRでのアクセス

・JR九大学研都市駅下車の場合
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。
(下記時刻表を参照ください)

・JR今宿駅下車の場合
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩10分



◆お車でのアクセス

・西九州自動車道今宿ICより約10分

無料送迎バス

◆送迎時刻表／ JR九大学研都市駅南口前より、無料送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	○	—	—	—	○

※平成27年2月1日改正



▲病院ホームページはこちらからアクセス!



JR九大学研都市駅南口前です。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

今津赤十字病院

〒819-0165 福岡市西区今津377番地
TEL(092)806-2111(代表) FAX(092)806-2314
ホームページ <http://www.fukuoka.jrc.or.jp/imazu/>

広報誌／今津日赤だよりvol.23
発行日／平成27年5月7日
発行責任者／藤井 弘二
編集委員長／武田 義夫
発行／今津赤十字病院